

## 令和4年度 社会福祉法人ウイング 事業報告

令和4年度も、新型コロナウイルス感染症が各事業に大きく影響した1年となりました。前年度に引き続き、日常的な感染防止対策の徹底、活動内容の縮小や変更、イベントの自粛など、日々工夫をしながら支援にあたりました。ただ、それでも各事業所で新型コロナが発生し、当初は全体的にサービスの提供を休止する対応を取り状況を見極めましたが、その後社会的な状況も踏まえて、利用者やご家族、スタッフの安心安全を前提に、可能な限り休止範囲を抑えてサービスを提供し、日々の利用ニーズに応えるように努めました。

コロナ禍においてサービス提供に制約が生じる中においても、利用ニーズは多岐にわたっています。法人内各事業所はもとより、行政、他事業所など外部の関係機関とも連携して、今、私たちにできることをひとつひとつ着実に行いました。

また意思決定支援、権利擁護の取り組みなど、利用者支援の根幹をなす取り組みに改めて向き合いました。これからも多様なニーズに応じていく一方で、そのニーズの前提である利用者ひとりひとりの想いにしっかりと実直に向き合っていきます。

### 【法人本部】

重点目標	○社会福祉法人としての使命の追及 ○適正かつ公正な法人運営 ○積極的な情報公開・情報発信
------	--

### 1. 理事会の開催

	開催日	出席数	議決事項
第1回	R4/6/7	理事5名 監事1名	R3年度社会福祉法人ウイング事業報告並びに決算報告について、R4年度資金収支補正予算(第1号)について、定款施行細則の一部改正について、ワーク&ライクのびっこ運営規程の一部改正について、相談支援事業所きらり運営規程の一部改正について、ライフサポートそら(訪問介護)(居宅介護等)(移動支援)(生活サポート)運営規程の一部改正について、グループホームにじ運営規程の一部改正について、にこにこ・ぬくぬく運営規程の一部改正について、R4年度定時評議員会の開催について
第2回	R4/9/21	書面決議 同意	R4年度資金収支補正予算(第2号)について、就業規則の一部改正について、非常勤職員就業規則の一部

		理事 6 名 監事 2 名	改正について、給与規程の一部改正について、育児休業規程及び介護休業規程の一部改正について、生計困難者に対する相談支援事業実施規程の一部改正について、所長の任命について、R4 年度第 2 回評議員会の開催について
第 3 回	R4/12/16	理事 5 名 監事 1 名	R4 年度資金収支補正予算(第 3 号)について、R4 年度第 3 回評議員会の開催について
第 4 回	R5/3/15	理事 5 名 監事 1 名	R4 年度資金収支補正予算(第 4 号)について、R5 年度社会福祉法人ウイング事業計画並びに資金収支予算について、給与規程の一部改正について、(仮称)グループホームにじ 2 号棟施設整備計画について、借入について、設計監理契約について、入札について、社会福祉法人ウイング苦情解決第三者委員の選任について、R4 年度第 4 回評議員会の開催について、にここ運営規程の一部改正について

## 2. 評議委員会の開催

	開催日	出席数	議決事項
第 1 回	R4/6/28	4 名	R3 年度社会福祉法人ウイング事業報告並びに決算報告について、R4 年度資金収支補正予算(第 1 号)について
第 2 回	R4/9/26	書面決議 同意 7 名	R4 年度資金収支補正予算(第 2 号)について
第 3 回	R4/12/25	書面決議 同意 7 名	R4 年度資金収支補正予算(第 3 号)について
第 4 回	R5/3/27	5 名	R4 年度資金収支補正予算(第 4 号)について、R5 年度社会福祉法人ウイング事業計画並びに資金収支予算について、(仮称)グループホームにじ 2 号棟施設整備に係る借入に伴う担保提供について

## 3. 監事監査

- 開催日 令和 4 年 5 月 30 日
- 場 所 ワーク&ライクのびっこ食堂
- 内 容 令和 3 年度事業報告及び会計監査 結果：適正

#### 4. 委員会関係

##### ○権利擁護委員会：会議 12 回

- ・身体拘束適正化指針に基づき研修を実施した。記録については、記入内容の基準を確認し、事業所ごとに改良を行った。
- ・職員一人ひとりが行動規範を確認するためのツールを作成した。人事考課の際に振り返りを行えるように活用していく。

##### ○研修委員会：会議 11 回

- ・新任研修を原則対面で実施した（年 5 回）、法人全体研修は動画視聴形式により各事業所で実施した。また、研修委員会だよりの発行（年 4 回）を行った。

##### ○福利厚生委員会：会議 6 回

- ・スポーツを通して職員同士の親睦を深める職員親睦会（10 月）、職員慰労品の配布（2 月）を行った。新型コロナ感染予防のため新年会は中止とした。

##### ○感染症対策委員会：会議 6 回

- ・感染症対策指針の完成。職員への研修・訓練を各事業所にて 2 回実施した。
- ・感染症に関する事業継続計画（BCP）を作成した。

##### ○スマイルフェス実行委員：第 5 回 smile<sup>∞</sup>smile fes 中止のため開催なし。

#### 5. 事務局

- ・社会福祉法人制度改革により強化された経営組織として、理事会・評議員会において、経営会議・本部会議で集約された意見や法人の経営状況・運営状況について、報告を行い必要事項についての決議を行った。
- ・新規グループホームの開所に向け、施設整備計画を再考し始動した。
- ・法人ホームページにつき、見やすい形で迅速に情報公開ができるよう改善し、事務局において全面的な更新作業が可能となった。
- ・ウィングで働く職員の声が求職者に届くような求人ページをイメージし、リニューアルを行った。今後さらにこの媒体を充実させ効果的な採用に繋げていく。
- ・実現可能な働き方の多様性を探りながら、ダブルワーク等の具体的な労務管理について情報を収集し、実際のケースに対応できるよう検討・準備を行った。
- ・請求ソフトの入替に伴い、ソフトで使用できる支援記録等を電子化する準備を行った。事業所ごとの準備が揃わず完全な移行には至っていない。
- ・新型コロナが蔓延する中、法人内事業所において感染事例が数件発生したが、関係各所への報告をはじめ、感染拡大を防ぐための対策や陽性者への対応を行った。
- ・これまでの感染症発生事例や対応策をベースに、事業継続計画（BCP）を作成した。
- ・主任研修を 2 回実施した。主任職間での連携を深めることができた。
- ・オンラインによるリモート会議が定着し、直接対面できない状況においても即時意見交換や情報共有を行うことができた。

## I のびっこ拠点

### 【多機能型事業所ワーク&ライクのびっこ】 生活介護・就労継続支援B型

重点 目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>○利用者の主体性を大切にした新しいこと・楽しいことをつくる。</li> <li>○利用者一人ひとりの思いを丁寧に、細やかにつかみ、支援に活かす。</li> <li>○障害有無、年齢に関係なく多世代の色々な人と、顔のみえるつながりを大切にする。</li> </ul>
----------	---

#### 1. 職員体制 (R5年3月31時点)

管理者兼サービス管理責任者1名・嘱託医1名・看護師2名・生活支援員22名

職業指導員1名・目標工賃達成指導員1名・管理栄養士1名・調理員3名・事務員1名・

運転手2名

計 35名 (うち常勤18名)

#### 2. サービス提供実績

**契約者** 55名

生活介護：40名 (新規2名・退所者1名) 就労B型：15名 (新規1名・退所者1名)

性別	女性	男性	計
生活介護	17	23	40
就労B	5	10	15
計	22	33	55

市町村	川島	川越	北本	計
生活介護	37	2	1	40
就労B	14	1	0	15
計	51	3	1	55

支援区分	1	2	3	4	5	6	未認定	計
生活介護	0	0	1	3	17	19	0	40
就労B	0	2	6	0	1	0	6	15
計	0	2	7	3	18	19	6	55

年齢	10代	20代	30代	40代	50代	60以上	計
生活介護	1	3	19	11	5	1	40
就労B	1	3	3	5	1	2	15
計	2	6	22	16	6	3	55

## 利用実績

R4年度 通所実績数																
月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間	前年度	前年度比	
生活介護	定員	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	30	—	
	契約者数	40	40	40	40	40	40	40	40	39	40	40	40.0	39.9	100%	
	通所日	20	19	22	20	21	20	20	21	20	19	19	22	243	242	100%
	利用者延数	656	640	735	689	685	651	648	685	666	612	629	731	8,027	8,286	97%
	平均利用者/日	32.8	33.7	33.4	34.5	32.6	32.6	32.4	32.6	33.3	32.2	33.1	33.2	33.0	34.2	96%
利用率(定員比)	109%	112%	111%	115%	109%	109%	108%	109%	111%	107%	110%	111%	110%	114%	96%	
就労継続支援B型	月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間	前年度	前年度比
	定員	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	—
	契約者数	16	16	16	16	15	15	15	15	15	15	15	15	15.3	17.75	86%
	通所日	25	24	25	24	22	24	24	25	23	22	23	26	287	287	100%
	利用者延数	221	237	243	238	209	236	231	240	237	219	214	267	2,792	3,052	91%
平均利用者/日	8.8	9.9	9.7	9.9	9.5	9.8	9.6	9.6	10.3	10.0	9.3	10.3	9.7	10.6	91%	
利用率(定員比)	88%	99%	97%	99%	95%	98%	96%	96%	103%	100%	93%	103%	97%	106%	91%	
R4年度 ランチサービス実績数																
ランチサービス	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度	前年度比	
利用者食数	809	761	929	732	725	819	795	865	774	788	792	933	9,722	10,659	91%	
	67%	68%	67%	65%	63%	65%	65%	66%	66%	66%	66%	67%	66%	64%	—	
職員食数	400	350	444	384	412	444	436	434	395	397	401	455	4,952	5,901	84%	
	33%	32%	32%	34%	36%	35%	35%	33%	34%	33%	34%	33%	34%	35%	—	
ボランティア他	1	0	5	11	5	5	0	11	6	5	4	5	58	127	46%	
	0%	0%	0%	1%	0%	0%	0%	1%	1%	0%	0%	0%	0%	1%	—	
総計	1,210	1,111	1,378	1,127	1,142	1,268	1,231	1,310	1,175	1,190	1,197	1,393	14,732	16,687	88%	
R4年度 送迎サービス実績数(回数)																
送迎サービス	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間	前年度	前年度比	
就労B型	221	233	245	222	188	238	256	239	225	217	218	285	2,787	2,953	94%	
生活介護	1001	966	1109	885	797	1005	992	1029	862	943	955	1113	11,657	12,638	92%	
合計	1222	1199	1354	1107	985	1243	1248	1268	1087	1160	1173	1398	14,444	15,591	93%	

## 工賃

- 就労支援B型 年間支給総額 3,669,958 円 (前年度 3,913,265 円)  
 平均月額 21,975 円 (前年度 21,001 円)  
 時給換算額 279 円 (前年 269 円)
- 生活介護 年間支給総額 2,968,910 円 (前年度 2,376,160 円)  
 平均月額 6,904 円 (前年度 5,280 円)

授産売上	カフェ	パレット	ジャquette	エラン	マハロ	合計
2021年度	8,831,999	1,276,663	3,188,700	243,340	2,187,596	15,728,298
2022年度	13,745,360	2,083,460	3,052,759	222,664	2,574,527	21,678,770
前年度比	155.6%	163.1%	95.7%	91.5%	117.6%	137.8%

## 実施状況

- ・今年度は職員の体制も踏まえて、少しずつ班の括りを越えた支援を模索し、例えば昼食事の介助を他班の支援員が行うなど、のびっこ全体の中での支援という部分を意識し取り組み始めた。
- ・利用者の加齢や身体の変化、また作業班ごとの活動内容などを踏まえて、他班の作業実習を行い、利用者の班異動などにつなげた。

- ・新型コロナについては、7月27～29日、8月25～29日、12月26日～28日に利用者の感染があり、影響を見極めるため生活介護、就労継続支援B型の一部（パレット班）について原則休所とした。その際には代替支援として、家庭での様子を電話でお聞きした。また12月については、サービスが必要な利用者に対して健康状態を確認した上でサービス提供をおこなった。

## 《生活介護》

### ○マハロ班（製菓事業）

- ・前年度と職員体制も変わり、また新たな利用者も加わったことで、班内の雰囲気が変わりはじめた。
- ・作業空間の拡大が必要となり食堂の一部を使用したり、また利用者一人ひとりに配慮した支援を考えるとともに、利用者同士の良好な関りを意識して支援にあたった。
- ・ハード面では作業環境を整えるために、空間の整備や冷蔵庫の置き場などのレイアウトを変え、利用者が作業に集中できるような環境設定をおこなった。
- ・製菓作業については、メンバー主体の授産品づくりや、作業のしやすさを心がけた。
- ・既存商品のパッケージ変更を一部行った結果、売上にも反映されている。
- ・余暇の部分では、各利用者が楽しめるように、タブレットや遊びに関わるグッズを提案し、時間を設けて提供した。
- ・HACCPに基づく衛生管理を行った。

### ○エラン班（紙漉き事業）

- ・名刺を手で裁断する作業、ミキサー作業のローテーション、ミキサーの掃除、プラ板の洗浄、カスタネットバサミの使用等、複数の作業を用意して、メンバーの適性や能力に合わせて作業を行った。
- ・多目的室で過ごす他班の利用者支援について引き続き協力・連携した。利用者の状況に合わせて臨機応援に対応をしている。
- ・ポチ袋の色塗りやコースターの文字書き、消しゴムで線を消す作業についても利用者の作業に組み入れた。また、ギフトバッグは昨年度のものから改良をしたが、まだ実用的な商品とはなっていない。カレンダー作成は4色の和紙を利用者と共に作成し、特に利用者に型抜きと型きりを作業として用意して作りあげることができた。
- ・バレンタインのタグの作成をしてマハロ班とのコラボレーション商品を作った。その際には、エラン班の和紙商品のアピールをした。
- ・名刺の納品時に利用者を含めて交流をしながら営業をおこなった。

### ○ジャカッセ班（リサイクル回収・外作業）

- ・職員間での情報共有に努め、早めの対応を心掛け、職員同士協力し合い、声を掛け合いながら利用者支援を行った。
- ・利用者とのコミュニケーションの時間を積極的に設けるとともに、連絡帳を通して、ご

家族との情報共有や、また他事業所との連携を大切にし、利用者に寄り添った支援を行えるよう努めた。

- ・回収した缶置き場の物品整理・配置換えを行い、作業スペースを広く取れるようにした結果、より清潔が保てるようになった。
- ・コロナ感染予防と利用者の体力に見合った作業量となるよう作業日程の調整を行った。
- ・コロナ渦でも回収作業を中止せず、マスク・手袋の着用や消毒液の携帯など感染予防を出来る限り行い、安定して行うことが出来た。
- ・「ゆるゆるタイム」を定期的に導入し「作業と遊び」の両方の時間を設けることが出来た。またその際には、やりたいこと、行きたい場所などを利用者に聞いて実施した。またその中で、体育館等を使用して体を動かす機会を多く提供できた。

#### 《就労継続支援 B 型》

##### ○パレット班

- ・今年度は新しい商品として年始タオルの受注があり対応した。
- ・コロナの感染状況に応じて参加したイベントにて、Tシャツやタオルなどの販売を行った。その結果、地域の方からのTシャツの注文などにつなげることが出来た。
- ・利用者の健康管理の一環として公園のウォーキングなどを行った。

##### ○カフェ班

- ・席数を削減しパーテーションなど県の飲食店の基準にあわせて営業を行った。
- ・前年度と同様にテイクアウトや配達などに力を入れ、新たな顧客開拓を行い売上の的にも大きく成果を上げることが出来た。
- ・新型コロナ対策として利用者、職員の健康状態の把握を徹底し、食事時間を他班とずらしたり、他の場所で食事をするなどの対策を行い、特に感染流行期においては、他の棟との接点を最小限にすることで休所せずに営業ができた。
- ・今まで職員が行ってきた作業（お米のセット、弁当の盛り付け、次の日の準備など）について、利用者にやっていただくことで、作業の拡大につなげることが出来た。

#### 《そのほか》

##### ○ランチサービス

- ・今年度も食事提供時間を 15 分早めの 11 時 30 分からとし、人の密集を回避した。
- ・コロナ感染時に使用する使い捨てのお弁当箱を常時在庫しておくようにした。
- ・毎月の誕生日献立、青空まんぷく会などをブログにアップし外部に発信した。
- ・物価上昇の影響でほとんどの食材が倍近く値上がりしたため、予算との兼ね合いで献立内容が薄くなった点もあり、来年度の課題とする。
- ・そば打ち会のイベント（6 月）は、新型コロナの影響のため中止とした。
- ・利用者向けの嗜好調査をおこなった。保護者試食会については、新型コロナの影響のた

め中止とした。

#### ○年間行事

- ・今年度も新型コロナ感染予防のため、中止または内容を変更・縮小して実施した。

かわじま春まつり（縮小参加）・水泳教室（水泳教室は中止/武蔵丘短期大学とスポーツ教室を行った）・ゆるゆる夏祭り（新型コロナによる休所のため中止）、日帰り旅行（2回に分かれて県内に行った）・青空まんぷく会（10月実施）・農工商祭（従来の農工商祭は中止だが、縮小してのびっこ内でレクリエーションを行った）、クリスマス会（12月実施）、班別レクリエーション（状況によって班ごとに対応を分けた）

#### ○保護者会

- ・4月は新型コロナ感染対策のため中止としたが、7月・12月・3月に実施した。のびっこでの一日や感染対策での支援、職員体制、グループホームなどの話をした。

#### ○実習生等の受入

- ・新型コロナの感染が落ち着いている時期に通常どおりの日程で受け入れた。通常の感染防止対策に加え、学生には行動記録や誓約書の提出など、感染防止対策を講じて受け入れを行った。

特別支援学校生徒：3校4名 介護等体験実習：2校2名 専門・短大等：1校2名

#### ○ボランティア

- ・今年度も通常時のボランティアの受け入れは感染症対策の点から中止した。

### 3. サービス向上のための取組

#### 職員研修等

##### ○外部研修

社会福祉施設職員等オンライン海外研修、チームリーダーキャリアパス研修、発達障害と併存障害・周辺状況への理解研修、障害のあるかたの為の健康づくり研修、下半期精神保健福祉研修、社会福祉施設職員向け感染症対策研修、医療的ケア教員講習会、福祉未経験職員向け研修

##### ○内部研修

緊急時の対応、新規利用者支援の確認、食中毒と熱中症対策、安全運転研修、障害を持つ方の高齢化問題、感染症対策、リスクマネジメント、権利擁護・虐待防止法人全体研修（アンコンシャス・バイアス研修/各事業所ごとに受講）

##### ○会議

職員会議（毎月）、運営会議（毎月）、班連携会議（毎月）、班会議（毎月）

#### 危機管理対策等

- ・各報告については朝会にて速やかに共有するとともに、班会議・班連携会議等で、共有・対応の検討を行い、事故の未然防止や支援向上に努めた。



- ヒヤリはっと 42 件（前年度 52 件）  
内容：支援中（転倒・利用者間接触・服薬等）33 件  
送迎中（送迎・車両等）7 件 他
- 事故報告 10 件（前年度 17 件）  
内容：車両の破損・故障（6）、利用者の怪我（2）、備品紛失、誤飲  
※その他、コロナ PCR 県検査報告を埼玉県に提出した。
- 苦情報告 3 件（前年度 5 件）  
内容：回収作業に関すること（2）、サービス内容
- 防災関係
  - ・消防避難訓練（年 2 回）、防災総合訓練（1 回）、洪水想定通報訓練（1 回）
  - ・定期点検：自主点検（年 2 回）、業者設備点検（年 2 回）
  - ・消防署立入検査（6 月／異状なし）
- 健康・衛生管理
  - ・感染予防対策を徹底したうえで実施した。  
利用者健康診断（年 2 回）、職員健康診断、利用者体重測定（月 1 回）、保健便り（年 4 回）、服薬管理、感染症に関する研修会（感染症対策指針に基づく）、救命救急講習会、保健衛生関係備品の整備、職員へインフルエンザ予防接種の補助奨励 他  
【看護師】消毒清掃・検温チェック等感染症対策の徹底、服薬管理、嘱託医との連携、利用者保護者の健康相談、緊急時の通院同行、看護師会議（月 1 回）など
- 車両運行管理
  - ・日常点検、法令点検、車検の実施、車両内外清掃、配車 他

## II かわじま地域生活支援センター拠点

### 【かわじま町障がい児・者相談支援事業所きらり】

特定相談支援・障害児相談支援・生計困難者相談支援

重点 目 標	<ul style="list-style-type: none"> <li>○意思決定支援を学び、支援につなげていく。</li> <li>○現在の相談支援の継続（本人・家族の希望に沿った総合的な計画）</li> <li>○自立生活に向けた「きらり Smile サロン」の展開</li> <li>○川島町の地域力アップ・連携の強化・オンラインの活用と展開</li> </ul>
--------------	--

### 1. 職員体制（R5 年 3 月 31 時点）

管理者 1 名（兼務）・相談支援専門員 2 名 計 3 名

## 2. サービス提供実績

### 契約者

・利用契約……144件（新規13件・終了3件）

性別	児童	成人	計
女	10	48	58
男	19	67	86
計	29	115	144

主な障害	児童	成人	計
知的	29	78	107
身体	0	10	10
精神	0	26	26
難病	0	1	1
計	29	115	144

援護市町村	児童	成人	計
川島町	28	104	132
川越市	1	6	7
北本市	0	1	1
桶川市	0	1	1
さいたま市	0	2	2
越谷市	0	1	1
計	29	115	144

### 利用実績

・認定調査……28件      ・計画作成……延121件      ・モニタリング……延389件

月別実績		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	前年	前年比
児童	契約数	26	26	27	26	25	25	25	24	24	28	29	29	29	28	103
	計画	4	2	3	0	2	6	2	3	1	2	1	4	30	34	88
	モニタリング	4	2	4	4	3	3	4	3	3	4	5	5	44	47	93
成人	契約数	110	111	111	112	111	111	111	113	114	114	115	115	115	108	106
	計画	15	4	14	4	9	6	3	7	6	6	5	12	91	94	96
	モニタリング	17	31	38	21	29	33	21	29	39	24	28	35	345	317	108
全体	契約数	136	137	138	138	136	136	136	137	138	142	144	144	144	136	105
	計画	19	6	17	4	11	12	5	10	7	8	6	16	121	128	94
	モニタリング	21	33	42	25	32	36	25	32	42	28	33	40	389	364	106
認定調査		4	1	2	2	4	3	4	0	3	3	2	0	28	41	68

## きらり smile サロン

実施日	内容	参加数
5月	アイロンがけ・きらりサロンの参加連絡を自分でやってみよう	5名
6月	自分で買って食べたお菓子のゴミ分別してみよう	5名
9月	残りの半年で、やってみたい事を皆で考える	3名
10月	埼玉県防災学習センターで防災について勉強しよう	4名
12月	グループホームに見学に行ってみよう	5名
1月	川越喜多院へ初詣に行く。今年の目標を皆の前で発表しよう	5名
3月	今年の振り返り。	5名

※4月、7月、8月、11月、2月は、新型コロナ等のため休み。

## 実施状況

- ・きらりとそらを一体化したセンターとして、4年目が終了した。今年度も両事業で連携し、生活に密着した支援を行った。
- ・ご本人やご家族の状況に合わせ、臨機応変に必要な支援を関係機関と連携して行った。
- ・今年度は毎月センターとして合同研修を行い、その中で特に意思決定支援について相談の役割について学び、自分たちが開催している担当者会議が意思決定支援会議も兼ねていることを意識して取り組んだ。また、本人の意思と家族の方針が異なっている2ケースについて、センター内で事例検討会を行い、グループスーパービジョンを用いて意見交換、アイデアを出し合い実践につなげた。そのことで、本人の意思を更に意識した支援のきっかけとなった。今後更に意思決定支援の考えを広めていくためには、計画相談の役割は大きく、またご本人と家族で考えが異なるケースも数多くあり、課題も見えて来た。次年度につなげていく。
- ・住む場の希望がご本人とご家族で一致せず、支援に行き詰っていたケースも、支援チームで協議を繰り返し、ご本人の意思を大切に進め良い方向で落ち着いた。
- ・川島町との連携強化については、今年度も川島町保健センター情報交換会に毎月1回参加した。必要なケースは川島町社協の地域包括支援センターと連携を取り支援した。
- ・きらり smile サロンで、グループホームの見学やグリコ工場の見学を行い、将来の生活の場や、仕事などのイメージづくりおこなった。
- ・関係機関事例検討会は、契約したが計画相談につながらず支援が中断したケースにつき検討した。

### 3. サービス向上の取組

#### 職員研修等

##### ○外部研修

あんしんセーフティネット事業担当相談員養成研修、社会資源入門研修、生活保護制度入門研修、精神障害支援の障害特性と支援技法を学ぶ研修、発達障害の基礎理解、サービス管理責任者更新研修

##### ○内部研修～センター内合同研修として実施

権利擁護・虐待防止、感染症研修、ヘルパー研修、個人情報取り扱い、介護保険の仕組み

意思決定支援研修（座学1回・事例検討2回・中間振り返り1回・年度振り返り1回）

法人全体研修（アンコンシャス・バイアス研修/各事業所ごとに受講）

##### ○会議

職員会議（毎月）、運営会議（毎月）

川島町保健センター情報交換会（毎月参加）、川島町内関係機関事例検討会（きらり主催・2月実施）、基幹相談支援主催研修（年2回参加）

#### 危機管理対策等

○ヒヤリはっと 0件（前年度0件）

○事故報告 0件（前年度0件）

○苦情報告 2件（前年度0件）

内容：緊急時に関係機関に対する相談員の伝え方、依頼後の初動対応について

##### ○保健衛生管理

職員健康診断、感染症に関する研修会（感染症対策指針に基づく）、救命救急講習会、保健衛生関係備品の整備、職員へインフルエンザ予防接種の補助奨励 他

#### 【ライフサポートそら】

居宅介護等・移動支援・訪問介護等・生活サポート・るんるんクラブ

重点目標	<ul style="list-style-type: none"><li>○意思決定支援を学び、支援につなげていく。</li><li>○サービス（支援）の質の向上</li><li>○ニーズに応えられる体制づくり</li><li>○新たな体制づくり</li><li>○地域とのつながりを大切にするについて</li></ul>
------	--

### 1. 職員体制

所長1名（きらり所長兼務）・管理者1名（サービス提供責任者兼務）・サービス提供責任者1名・ヘルパー支援員5名・登録型ヘルパー18名 計26名（うち常勤6名）

## 2. サービス提供実績

### 契約者及び利用実績

事業別	契約者 (R4. 4. 1~R5. 3. 31)	利用実績/年間
障害 (居宅介護等)	28 名	7, 431 時間
介護 (訪問・予防)	4 名	436 時間
移動支援	60 名	2, 270.5 時間
生活サポート	125 名	2, 566 時間
るんるん	17 名	延参加 294 名

4. 利用実績															
行動援護・重度訪問介護・居宅介護・同行援護/月別利用実績															
項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度	前年度比
援行 介護	28	28	28	28	28	28	28	28	28	27	27	27	27.8	26.9	103%
利用時間	443.0	451.0	416.0	402.0	400.5	365.5	420.5	397.0	365.0	403.5	370.0	409.5	4,843.5	5,167.5	94%
訪重 介護	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1.0	1.0	100%
利用時間	23.0	30.0	17.0	21.0	14.5	12.0	17.0	12.0	16.5	12.0	12.0	12.0	199.0	183.5	108%
介居 宅	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17	17.0	12.0	142%
利用時間	156.0	170.5	180.5	162.5	171.0	177.0	176.0	191.0	195.5	192.0	181.0	201.5	2,154.5	2,124.8	101%
援同 行	2	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	2.9	2.0	146%
利用時間	18.5	22.5	22.5	22.0	14.0	13.5	19.5	15.5	19.5	25.0	22.0	19.5	234.0	251.5	93%
合計	48	49	49	49	49	49	49	49	49	48	48	48	48.7	39.9	122%
利用時間	640.5	674.0	636.0	607.5	600.0	568.0	633.0	615.5	596.5	632.5	585.0	642.5	7,431.0	7,727.3	96%
居宅 介護 内訳	身体介護	148.0	161.0	162.0	151.5	159.0	177.0	176.0	191.0	195.5	192.0	181.0	201.5	2,095.5	
	通所等介助(身有)	8.0	9.5	18.5	11.0	12.0	13.0	10.5	8.5	9.5	14.0	9.5	7.0	131.0	
	家事援助	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
													2.0	2.0	
訪問介護・予防訪問介護/月別利用実績															
項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度	前年度比
介訪 護	2	2	2	3	3	3	2	2	2	2	3	3	2.4	2.4	101%
利用時間	17.00	17.50	17.00	34.50	35.00	50.50	16.50	17.00	18.00	17.00	19.00	28.00	287.00	299.00	96%
訪予 問防	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1.0	1.0	100%
利用時間	12.00	13.00	13.00	12.00	12.00	13.00	13.00	13.00	13.00	10.00	11.00	14.00	149.00	151.00	99%
合計	3	3	3	4	4	4	3	3	3	3	4	4	3.4	3.4	100%
利用時間	29.00	30.50	30.00	46.50	47.00	63.50	29.50	30.00	31.00	27.00	30.00	42.00	436.00	450.00	97%
移動支援・月別利用実績															
項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度	前年度比
身介 護	33	33	33	33	33	33	33	33	33	33	34	34	33.2	32.5	102%
利用時間	108.5	113.5	105.5	99.5	94.5	114.5	82.5	90.5	106.0	105.0	98.0	114.0	1,232.0	1,294.5	95%
身介 護 し	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26	26.0	27.7	94%
利用時間	70.0	97.5	83.5	73.0	56.0	82.0	93.5	105.5	91.5	86.5	102.0	97.5	1,038.5	976.0	106%
合計	59	59	59	59	59	59	59	59	59	59	60	60	59.2	60.2	98%
利用時間	178.5	221.0	189.0	172.5	150.5	196.5	176.0	196.0	197.5	191.5	200.0	211.5	2,270.5	2,270.5	100%
生活サポート・月別利用実績															
項目	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	前年度	前年度比
利用 実績	126	126	126	126	126	126	126	126	126	125	125	125	1,258	1,280	98%
利用者 実人数	51	56	54	53	50	49	51	57	55	53	54	56	53.3	54.4	98%
利用時間	226.5	239.5	227.5	228.0	193.0	219.5	222.5	198.0	208.0	186.0	186.5	231.0	2,566.0	2,802.0	92%

### るんるんクラブ

○登録者数 17名 (川島町内 17名)

○発表

フラダンス…川島町生涯学習フェスティバル (11月)

フラワーアレンジ (キッズ含む) …川島町中央文化展展示 (11月)

※ウイングフェス・のびっこ夕涼み発表・平成の森老人保健施設については、新型コロナの影響により中止

プログラム	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計	回
ダンス	6	7	7	×	9	9	7	7	×	7	6	7	72	10
ヨガ	7	—	—	—	9	—	—	—	—	—	—	—	16	2
卓球	—	—	—	—	—	—	—	—	—	9	9	8	26	3
調理	—	—	—	—	—	—	—	8	—	—	—	8	16	2
音楽	—	—	8	—	—	—	—	—	—	—	—	—	8	1
工作	—	—	—	8	—	—	—	—	9	—	—	—	17	2
書道	—	—	—	—	—	—	—	—	—	9	—	—	9	1
読み聞かせ	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	9	—	9	1
ドッチボール	6	7	7	—	—	—	—	—	—	—	—	—	20	3
ドッチビー	—	—	—	8	6	8	—	—	—	—	—	—	22	3
ウォーキング	—	8	—	—	—	8	8	—	—	—	—	—	24	3
キックベース	—	—	—	—	—	—	8	8	8	—	—	—	24	3
キッズ	2	3	4	2	×	3	3	5	×	3	4	4	33	10
合計	21	25	26	18	24	28	26	28	17	28	28	27	296	44

グループ外出

実施日	内容	行先	参加数
4月(2日・10日)	お花見	森林公園	11名
5月(7日・8日)	聖天宮に行こう	若葉ウォークと聖天宮	14名
6月(4日・5日)	動物に会いに行こう	こども自然動物自然公園	14名
7月(2日・3日)	ハイキング	森林公園	14名
8月(6日・7日)	吉見百穴に行こう	吉見百穴	11名
9月(3日・4日)	梨狩りをしよう	岩鼻運動公園と梨屋さん	12名
10月(1日・2日)	牧場に行こう	丸山公園と榎本牧場	16名
11月(5日・6日)	聖天宮に行こう	若葉ウォークと聖天宮	15名
12月(3日・4日)	動物に会いに行こう	こども自然動物公園	15名
1月(7日・8日)	初詣に行こう	東松山・箭弓神社	13名
2月(4日・5日)	醤油パークへ行こう	笛木醤油	14名
3月(4日・5日)	春を探しに行こう	森林公園	15名
年間総数：実施回数／24回 延参加人数／164名 ヘルパー確保できず断った数／0名			

## 実施状況

- ・新型コロナ流行時にも、職員を分け、サービスを止めない努力を行ったことで、必要な方へのサービスを継続することができた。例えば関係機関と連携し、濃厚接触で自宅待機している利用者への居宅介護サービスの継続や、状況に合わせた形でのサービスの追加などをおこない生活や情緒の安定につなげた。
- ・新型コロナ以外の感染症の利用者についても、対策を行い支援の継続ができた。
- ・利用者支援に関しては、利用者のニーズに柔軟に対応し、前向きな支援が行えている。
- ・ご本人やご家族の高齢化などにより、日中活動に通えなくなった方が増えてきている。緊急時には、相談内容にあわせ柔軟に対応した。
- ・その組織力が安定してきた。主任と各職員の意識も高く、協力・連携を強めている。
- ・必要に応じて関係機関（行政・医療・訪看・ケアマネ・相談員等）と連携し利用者支援を行っている。
- ・るんるんキッズで今回はじめてジャガイモを植え収穫した。収穫時は、グループホームにじ利用者や、当日のそら利用者の方にも声をかけ一緒に収穫体験をした。成人と児童の交流の場になった。

### 3. サービス向上のための取組

#### 職員研修

##### ○外部研修

福祉用具研修、精神障害のある人の生活の中の権利、介護福祉士実務者研修  
サービス管理責任者更新研修、行動援護従事者養成研修

##### ○内部研修～センター内合同研修として実施

\*きりり参照

##### ○会議

職員会議（毎月）、運営会議（毎月）

#### 危機管理対策等

##### ○ヒヤリはっと 2件（前年度8件）

内容：転倒の恐れ・不安定な兆候

##### ○事故報告 17件（前年度28件）

内容：派遣遅刻（5）車両事故（4）・転倒（3）・派遣忘れ（2）・派遣調整ミス 他

※その他、コロナPCR県検査報告を埼玉県に提出した。

##### ○苦情報告 5件（前年度7件）

内容：ヘルパーの態度（2）、異性ヘルパーが派遣に入った際にできることが限られていた、訪問時の駐車位置、キャンセル料についての説明不足

##### ○保健衛生管理

職員健康診断、感染症に関する研修会（感染症対策指針に基づく）、救命救急講習会、





## 実施状況

- ・令和4年度開始時点で1名の欠員であったところ、4月に1名が契約され充足された。
- ・前年度は利用者の入替りが多い年であったが、今年度は同じ利用者で1年間推移した。
- ・10月に利用者1名が入院されたのと、他の利用者1名が2～3か月に1回のペースで帰省された以外は、皆さま毎日利用していただいた。
- ・12月末にホーム内で新型コロナが発生し、ゾーニングをおこない対応した。感染は利用者2名に留まり、ふたりとも回復される。また、通所施設でコロナが発生し休所となった際には、各事業所の応援も仰ぎながら日中の支援をおこなった。
- ・それぞれの利用者に応じた余暇、何気ない会話など、日々のささやかな楽しみの積み重ねを大切にしたい。
- ・利用者の通院が定期・不定期を含めて多くなってきている。看護師をはじめ、ご家族や相談機関、通所事業所、ヘルパー事業所等との連携に努めた。また通院後の情報共有についても留意した。利用者が入院された際には、入院中の着替えの用意、保護者との連携など必要な支援を行った。
- ・非常勤が多い職員構成のため、様子の引継ぎには、業務日誌、回覧文書の活用の徹底に加えて、共有Lineを活用して、できる限りの情報の共有に努めた。
- ・外部に対して、ホームの特色のアピールを積極的におこなうことはできなかった。この項目については、新年度積極的に展開していきたい。
- ・新型コロナの感染事例があったが、引き続き、日々の基本的な感染防止対策を徹底しておこなった。
- ・月1回の「メンバー会議」は定着し、利用者同士で司会や進行などを決めている。
- ・衛生面について、メンバー会議において職員と一緒にこなう個別掃除日を決めて、居室内清掃を実施している。
- ・地域活動については、コロナの影響もあり、利用者の参加は行わなかった。職員が地域種まきに1度参加。その他、地域の防犯パトロールに参加した。
- ・研修は当初の計画通りにできなかった。動画研修など工夫が必要である。
- ・洪水時の避難確保計画を作成し、川島町に報告書を提出（5月）した。

### 3. サービス向上のための取組

#### 職員研修

##### ○外部研修

埼玉県障害者グループホーム職員研修・強度行動障害支援者養成研修基礎研修

##### ○内部研修

権利擁護・虐待防止、感染症対策、個人情報保護

法人全体研修（アンコンシャス・バイアス研修/各事業所ごとに受講）

##### ○職員会議（毎月）・運営会議（毎月）

### 危機管理対策等

○ヒヤリはっと 20 件（前年度 26 件）

内容：飛び出し、鍵の忘れ（4）・服薬忘れ（4）・むせ込み（3）・危険物の放置（2）他

○事故報告 5 件（前年度 5 件）

内容：貴重品の紛失（2）・職員へ暴力（2）・食物が詰まる

※その他、埼玉県にコロナ PCR 県検査報告を提出した。

○苦情報告 0 件（前年度 0 件）

○防災関係

・消防避難訓練（7 月・3 月）・洪水時避難確保計画に伴う訓練（8 月）

・定期点検：自主点検（毎日）・業者設備点検（5 月・11 月）

・消防署立入検査（6 月／異状なし）

○保健衛生管理

職員健康診断（年 2 回）、服薬管理、感染症に関する研修会（感染症対策指針に基づく）、

保健衛生関係備品の整備、職員へインフルエンザ予防接種の補助奨励 他

○車両運行管理

・日常点検、法令点検、車検の実施、車両内外清掃、配車 他

### その他

○令和 4 年 6 月に埼玉県福祉監査課による実地指導があり、指導事項が 2 件あった。2 件とも改善をはかり、改善報告書を提出した。また注意事項についても改善をおこなった。

## IV にこにこぬくぬく拠点

### 【にこにこ】 児童発達支援・放課後等デイサービス

重点 目標	<ul style="list-style-type: none"><li>○子ども同士が心地よい時間を共有できる。</li><li>○個々の利用者の意思決定を後押しし、やりたいことを実現する。</li><li>○支援の根拠をスタッフ間で共有し、つながりのある支援を行う。</li><li>○人権、権利擁護に関するスタッフへの啓発、取り組みを繰り返しおこなう。</li><li>○基本的な感染予防対策を確実にいき、その上でコロナ禍でも工夫した活動をおこなう。</li></ul>
----------	---

#### 1. 職員体制（R5 年 3 月 31 時点）

管理者 1 名、児童発達支援管理責任者 1 名、保育士 2 名、児童指導員 3 名

指導員（福祉サービス経験者含む）5 名、事務員 1 名 計 13 名（うち常勤 5 名）

## 2. サービス提供実績

**契約者** 27件 (R4年4月1日～R5年3月31日) / 定員10名

放課後等デイサービス・・・ 25名

児童発達支援・・・・・・・・ 2名

性別	女性	男性	計
放課後等デイサービス	13	12	25
児童発達支援	1	1	2
計	14	13	27

市町村	川島	川越	吉見	東松山	上尾	桶川	北本	計
放課後等デイ	8	12	3	1	0	0	1	25
児童発達支援	1	1	0	0	0	0	0	2
計	9	13	3	1	0	0	1	27

学校・学年別	児童発達	放課後等デイ対象				計
	未就学	小学部 1~3年	小学部 4~6年	中学部	高等部	
川越特別支援学校		7	1	1	3	12
ひばりが丘特別支援学校		1	0	4	3	8
上記以外	2	3	1	0	1	7
計	2	11	2	5	7	27

### 利用実績

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	年間
定員	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
開所日	26※	26	26	26	24※	26	26	26	24	24	24	27	305
利用延数	176	203	221	223	188	214	207	206	156	178	194	232	2398
平均利用/日	7.0	7.8	8.5	8.6	8.2	8.2	8.0	7.9	6.5	7.4	8.0	8.6	7.9

※4月(計1日)・8月(計1日)に休所日あり(新型コロナによる)。

※児童発達支援は、年間利用延べ数99人のご利用(全体の4.1%)

## 実施状況

- ・年間平均利用率は79%ほど。新型コロナによる休所を最小限に留めたこと、また前年度は休所が多かったこともあり利用は増加した。児童発達支援についても、前年度より利用が増えた。
- ・新型コロナについては、感染防止対策を徹底した。感染が発生した際には、保健所等の関係機関とも連携し、事後の対応を協議した。その際影響を見極めるため、4月・8月にそれぞれ1日ずつ休所対応をとった。また利用児童の感染や濃厚接触者該当の連絡も頻回にあり、その都度、保護者・利用者に周知し、関係機関とも連携の上、サービスを継続した。
- ・新型コロナをはじめとした体調不良による急遽のキャンセルも多く発生したが、一方で追加利用の依頼も一定数あり、出来るだけお受けするように努めた。
- ・前年度末に、高等部3年生が複数名卒業し、4月より小学部1年生の利用や年度途中から児童発達支援(未就学児)の利用もあり、全体として利用者の年齢層が下がっている。
- ・多様な障害特性の方を受け入れており、当日の利用人数や児童の障害特性などを考慮して毎日の活動プログラムを計画し、実施した。年齢幅や障害特性の違いの中で、お互いを感じて関係を作っていくこと、お友達・仲間づくりが出来るように努めた。
- ・新型コロナ対策には最大限気を配り(外出先の配慮、室内活動の工夫、食事時の距離の確保等)、その中でも日々の活動が充実したものになるように工夫している。
- ・また特に重度の利用者を対象とする「個別サポート加算」対象者が多く在籍しており(全体の7割超)、職員加配加算を取得し、その日の利用者の特性を考慮した職員配置をおこなっている。
- ・児童発達支援管理責任者の主導の下、個別支援計画作成と、その計画をもとに充実した支援がおこなえるように記録や確認事項などを改善した。9月・3月に個別支援検討会議をおこない共通認識を図り支援に努めた。
- ・連絡ノートや送迎時の引継ぎ、個別面談等により保護者とのコミュニケーションに出来る限り努めた。尚、個別面談は原則電話面談として、年2回実施した。
- ・医療的ケア児の利用はなく、今後の見通しとしても専門性の高い他の事業所の利用が考えられる。受け入れの希望があった際に受け入れられるか検討していく。一方で、利用されている方の体調把握をより重点的に実施した。
- ・送迎サービスのニーズは高く、川島町という地域の特性上、送迎方面が多岐にわたっている。そのため効率的で安全な送迎体制に努めた。

### 3. サービス向上のための取組

#### 職員研修

##### ○外部研修

チームリーダーキャリアパス研修、中堅職員キャリアパス研修、感染予防基礎研修、福

社未経験者向け研修、強度行動障害支援者養成研修基礎研修、同実践研修

○内部研修

権利擁護・虐待防止、熱中症予防、個人情報保護、安全運転、感染症対策、どう変わる？  
障害児支援研修

○会議等

職員会議（毎月）、運営会議（毎月）

**危機管理対策**

・「ヒヤリはっと」については、随時啓発しており、内容は職員会議や回覧で全職員が共有している。引きつづき傾向を分析して事故の予防に努めていく。

○ヒヤリはっと 70 件（前年度 92 件）

内容：転倒つまずき（11）、壁や物などにぶつかる（9）、送迎利用（時間含む）間違い（6）、荷物の入れ間違い（4）、車中で手が出ることなど車に関すること（12）他

○事故報告 8 件（前年度 6 件）

内容：車両事故・物損（3）、車両もらい事故・職員の怪我、利用者他傷、物品の破損、車内から降ろし忘れ・行方不明

※3 件について、埼玉県・関係市町に事故報告及び再発防止策を報告した。

※その他、埼玉県にコロナ PCR 県検査報告を提出した。

○苦情報告 1 件（前年度 1 件）

内容：上記事故の降車忘れについて

○防災訓練

- ・消防避難訓練（年 2 回）・洪水時避難確保計画に伴う訓練（1 回）
- ・定期点検：自主点検（毎日）・業者設備点検（年 2 回）

○保健衛生管理

職員健康診断（年 2 回）、服薬管理、感染症に関する研修会（感染症対策指針に基づく）、保健衛生関係備品の整備、職員へインフルエンザ予防接種の補助奨励 他

○車両運行管理

日常点検、法令点検、車検の実施、車両内外清掃、配車 他

**その他**

○「放課後等デイサービスガイドライン」及び「児童発達支援ガイドライン」に基づく自己評価を実施し、その結果については法人ホームページに公開した。

○にこぬくだよりを月 1 回発行している。

○令和 4 年 6 月に埼玉県福祉監査課による実地指導があり、指導事項は「なし」、注意事項については改善をおこなった。

【ぬくぬく】短期入所事業

重点 目標	<p>○食事・入浴・睡眠等、各生活の場面において、各利用者のニーズを踏まえた上で、年齢や障害に応じて、場面に応じた適切かつ丁寧な支援をおこなう。</p> <p>○緊急時対応については、優先的に調整して全て受け入れるように努める。</p> <p>○重度の方が多く利用している点をも踏まえて、利用者の人権に対する取り組みを継続しておこない、スタッフの意識をより一層高める。</p> <p>○感染症対策を万全におこない、安心してご利用いただく。</p>
----------	---

1. 職員体制

管理者 1 名、生活支援員 7 名、清掃員 1 名、事務員 1 名 計 10 名（うち常勤 5 名）

※常勤はにこにこ兼務

2. サービス提供実績

契約者 67 件（R4 年 4 月 1 日～R5 年 3 月 31 日）／定員 4 名

性別	女性 21 名	男性 46 名	計 67 名
----	---------	---------	--------

市町村	川島	川越	吉見	上尾	桶川	東松山	北本	坂戸	計
	44	7	4	5	3	1	2	1	67

区分	1	2	3	4	5	6	児童 1	児童 2	児童 3	計
	0	1	4	9	13	33	0	0	7	67

利用実績

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	年間
開所日	30※	31	30	31	31※	30	31	30	30	28	28	31	361
利用者延数	210	220	221	210	189	209	222	225	204	204	210	228	2485
空き枠（キャンセル数）	7	2	0	12	21	8	4	0	14	0	1	3	126

※4 月（計 1 日）・8 月（計 3 日）に休所日あり。空き枠には休所日分を含む。

実施状況

- ・新型コロナについては、感染防止対策を徹底していたが、4 月に職員の感染があり、保健所等の関係機関とも連携し事後の影響を見極めるため、1 日の休所対応をとった。また 8 月には宿泊していた利用者が抗原検査で陽性となり、その際に支援に入っていた職員も陽性となる。ここでも影響を見極めるため 3 日間の休所対応をとった。またそれ以外にも、感染や濃厚接触者等による利用キャンセルが一定数あった。
- ・一方で併設するにこにこの児童が濃厚接触者となることも複数回あった。ただ、その都

度必要な対策を講じ、利用者・保護者へ周知して利用確認を行いながらできるだけサービスを継続した。

- ・通常の感染予防対策に加えて、食事時間をずらしたり、利用者間の距離を保っていたりなどの対応をおこなった。
- ・利用枠の空き状況に応じて、必要な方への声掛けをおこない利用して頂いた。
- ・緊急利用は1件あり、保護者の急病に伴う依頼でそのまま入院であった。最優先で調整に努め、2週間ほどの長期の利用依頼に対応した。
- ・新規契約者は1件。契約終了者は2件であった（利用者逝去に伴い契約終了）。
- ・利用者が安心、快適に過ごせるように、保護者や各関係機関と連携した。またその内容については、業務日誌や引継ぎ簿の活用により、職員間での共有に努めた。
- ・「重度障害者支援加算」対象者が多く在籍している点を踏まえて、重度障害者に対する研修修了者を多く配置して、より適切な支援を行うように努めた。
- ・利用者の様子の引継ぎについては、特に利用者の健康状態、体の状態の確認等を中心に、関係事業所とおこなうようしている。
- ・深夜帯はひとりでの支援となることも踏まえて、職員に対する人権意識の取り組みは、会議等の場を通じて随時啓発に努めている。

### 3. サービス向上のための取組

#### 職員研修等

\*にここに参照

#### 危機管理対策等

- ・薬に関する報告が目立った。概要について職員会議で共有して、対応を強化した。
- ヒヤリはっと 18件（前年度24件）  
内容：私物の返却忘れ・入れ間違い（7）、薬の飲み忘れ・時間違い（3）、転倒（2）、事業所間の連絡ミス（2）他
- 事故報告 13件（前年度6件）  
内容：服薬間違い・忘れ（4）、備品破損（5）、車両物損、介助中に痣をつけてしまう、スタッフ怪我、自傷による怪我  
※1件について、埼玉県に事故報告及び再発防止策を報告した。  
※その他、埼玉県にコロナPCR県検査報告を提出した。
- 苦情報告 0件（前年度3件）
- 防災訓練、保健衛生管理、車両運行管理については、にここに参照
- その他
- 令和4年6月に埼玉県福祉監査課による実地指導があり、指導事項は「なし」、注意事項については改善をおこなった。